

むし歯や歯周病の予防とPMTc

むし歯や歯周病の原因は、プラーク(歯垢)と呼ばれる細菌のかたまりです。細菌は、自分がつくり出すネバネバした物質で膜をつくり、その中で増殖しながら歯の表面にしっかり定着しています。微生物が自分できれい出す物質を保護膜にしながら固形物にくっついて集団生活していることを「バイオフィーム」と言いますが、プラークもバイオフィームです。

むし歯や歯周病を予防するためには、原因となるプラークを取り除くことが重要です。歯みがきなどのセルフケアはもちろんのこと、スケーリング、ルートプレーニング、PMTcなど、専門家による処置とケアが必要です。

Q バイオフィームは、どうして専門家でないと除去できないの?

バイオフィームの特徴は、粘着性の強さと増殖する菌の力で薬剤が膜を通過しないことです。プラークも、歯ブラシだけでは落としきれず、抗菌剤だけで除去することもできません。

そこで、歯の表面のバイオフィームであるプラークを完全に落とす目的で開発されたのが、『PMTc』です。歯質や歯肉を傷つけない特殊な器具で、一定の方式に従って行うものなので、特別なトレーニングが必要なのです。

Q PMTcは歯周病の進行を防ぎますか?

歯周病の原因は、歯肉にかくれて見えない歯周ポケットのプラークや歯石で、空気が嫌いな細菌のかたまりです。医院では、スケーリングやルートプレーニング(歯の根をツルツルにする処置)で歯周ポケットのプラークや歯石を除去し、PMTcでバイオフィームのないきれいなお口にして歯周病を改善します。

しかしこれで終わりではありません。再発防止には、定期的なPMTcと専門家の指導による生活習慣の改善など、お口の環境悪化を防ぐことが大切です。

Q フッ素を使うのはなぜですか?

フッ素には、再石灰化(歯から溶け出したカルシウムやリンを歯の表面に戻す作用)の促進や、歯の成分の結晶を緊密にして歯を強くする働きがあります。また、フッ素にはバイオフィームに浸み込んでいく作用もあります。

プラークを除去した歯の表面にフッ素を塗れば、細菌の働きが抑制され予防効果が更に高まります。

KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

2 2009年
月号



寒い日が続いています。空気も乾燥し、インフルエンザも流行しているようです。ご注意ください。

栄養をとる。(カロリーではありません。)、休養をとる(可能な限り、しっかり休みましょう。)、人ごみはできるだけ避ける。

(避けられない時は、マスクの着用)、手洗い・うがいをする。

(基本です。)口呼吸を避ける(口は開けっ放しにしない)。早期発見、早期治療。過信が一番怖いものです。『私は大丈夫』がいちばん要注意。一人一人が注意しなければ周りの人にも迷惑をかけます。それが『感染症』です。

冬至を過ぎ、少しずつ太陽の光も高いところを過ぎるようになりました。冬至近辺は、金町駅南口の再開発の影響でお昼前後が日影になっていた我が医院も、影に入らなくなりました。確実に春は近づいています。冬の厳しさがあるから春が嬉しいもの。『四季』って本当に良いですね。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。
このニュースレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

診療日
変更の
お知らせ

・診療日の変更はありません。

こみや歯科

☎ 03-5699-8888

〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

「インターネット予約確認サービス URL」 <http://www.dent-s.net/komiya/>

ホームページアドレス <http://www.wahaha.gr.jp> E-mail dental@wahaha.gr.jp